



# 『顧客番 5.0』 代表的な機能一覧

※五十音順に機能説明しています。

## 一覧変更機能とは？

『顧客番』の通常の顧客編集は、入力しやすいカード形式となっています。しかし、「Excel」のような表形式の顧客編集を希望されるお客様もおられます。その目的にかなう機能が、一覧変更機能です。条件抽出一覧変更機能は、条件抽出に合致した顧客のみを表形式で顧客編集できます。



## 一発検索機能とは？

『顧客番』には3種類の検索機能が用意されています。一般のソフトで用いられる通常の検索機能、強かに顧客をピックアップできる条件検索機能、そして簡便な一発検索機能です。一発検索機能は特定の項目(顧客コードや電話番号等)に絞った検索機能で、お客様から問い合わせがあったときに、その項目ですぐにお客様の検索/照会ができます。



## 一発メール機能とは？

条件抽出機能で、そこに表示している顧客を一括メール送信できますが、シンプルにグループ全体の顧客を一括メール送信したい、というご要望にお応えしたのが、一発メール機能です。一発メール機能はグループ単位で一括メール送信できますので、その単位でグループ分けすると顧客の管理がより容易になりそうです。



## クラス機能とは？

各々のグループをまったく違った項目に所属させることができる項目別管理機能です。例えば、日本人と外国人の顧客を管理する場合、日本人は住所を都道府県名から入力しますが、外国人の場合はその逆からの入力となり、漢字入力もオフの方が便利でしょう。このように項目内容に大きく違いがある顧客を一つの顧客管理ソフトで管理するのは非常に難解なことでしたが、クラス機能を使用すればいとも簡単に実現できます。



## 項目移動機能とは？

『顧客番』は膨大な情報を一覧表示することができる、他に類を見ない顧客管理ソフトです。その実現のために、文字・日付・数値・チェックの各項目をシステム固定とし、その表示順序を限定しています。その表示順序を後から変更させる機能が、項目移動機能です。



## 事前お知らせ機能とは？

連絡/通知しないといけない顧客に対してその日付を入力しておく、当日～数十日前等の設定にしたがって事前お知らせのウィンドウを表示してくれる機能が、事前お知らせ機能です。設定次第で『顧客番』稼動時にも表示できますので、うっかり忘れを防止できる機能となります。



## 条件検索／条件抽出機能とは？

複雑な(最大16の)複合条件で、“含む／含まない”や“範囲内／範囲外”や“空欄／ゼロ”等を細かく指定してAND/OR検索できる機能です。

今回新たに、ご要望の多かった日付の月指定も付加され、今まで以上に目的の顧客を確実にピックアップできます。

条件検索拡大機能は、一覧選択のデータのみならず、履歴文字／日付一括や拡張文字／日付一括等も条件検索できます。

またピックアップした顧客を一覧表示するのが条件抽出機能で、ここでは色々な加工(印刷やエクスポート、一括メール送信等)ができます。



## 重複禁止機能とは？

顧客コード等でデータが重複してはいけない項目があるとき、その保存を防止できる機能です。

カード形式での保存時に機能しますので、その点のみご注意ください。



## 排他警告表示機能とは？

LANで『顧客番』ファイルを共有している場合、同時に顧客情報を編集する可能性があります。

そうすると後から保存した顧客情報の編集分だけが有効となり、好まれない結果となります。

このような愚を回避するための警告を発する機能が、排他警告表示機能です。



## バーコード機能とは？

『顧客番』に、2つのバーコード機能が加わりました。

一つは一般バーコード機能で、JANコードやQRコードを管理できます。

そしてそれを使用して、バーコード照合機能で顧客を簡単に呼び出すこともできますので、会員制ショップなどでは非常に有用な機能となります。

もう一つは郵便バーコード機能で、印刷時に郵便のカスタマバーコードを印字出力できます。

これにより、郵便局で送料の料金割引を受けることもできます。



## パスワード管理機能とは？

個人情報保護法が施行され、多くの顧客情報を管理する側ではその取り扱いや外部へのリーク(情報漏れ)等に気を使わなければならなくなりました。

『顧客番』ではその対策としまして、2つのパスワード管理機能を設けました。

一つは簡易パスワード機能で、『顧客番』稼働時に使用者を制限できます。一つのパスワードのみですので、管理が容易です。

もう一つはグループパスワード機能で、グループごとにパスワード管理できます。管理者が使用する管理パスワードと、利用者が使用する利用パスワードによって、『顧客番』使用を制限します。

グループパスワードは、『顧客番』ファイルが万が一外部に流出しても、『顧客番』の正規パスワードがないと開くことはできません。



## マスタ機能とは？

文字項目部で、何度も使用する文字データはあまた存在します。

それらの文字データを登録しておき、必要に応じて呼び出せる機能がマスタ機能です。

『顧客番』のマスタ機能は、単なるマスタ呼出機能にとどまらず、種々の便利機能を搭載しているマスタ編集機能も充実しています。

